

ロシア沿海地方政府主催会議「養蜂業における輸出ポテンシャル」

(2021年4月14日(水))

参加者：

<沿海地方政府>

1. ブロンツ沿海地方政府農業大臣
2. スタリチコフ国際協力局長
3. マクヒナ沿海地方政府企業支援センター副所長 他

<沿海地方養蜂業関係者など>

1. ストゥプニツキー沿海地方商工会議所連盟 会頭
2. エニケーエフ沿海地方養蜂業者連盟 会長、<https://primhoney.ru/about>
3. ユルコフ養蜂個人事業者(「養蜂のエネルギー」コンクール入賞者)
(ブランド名『The Myod』, <https://the-honey.ru>)
4. ユルキン養蜂個人事業者(「養蜂のエネルギー」コンクール入賞者)
(パルチザンスク養蜂場経営, <https://jp.rbth.com/business/84304-muryou-tochi-wo-te-ni-ireta-roshiajin-no-unique-project>)
5. ヴォロシロヴァ SOTA 社 社長 ほか
(https://www.instagram.com/med_sota/)

<外国側>

1. 在ウラジオストク日本総領事館 野田領事
2. ウラジオストク日本センター 2名
3. 在ウラジオストク 韓国総領事館貿易担当 領事
4. 在ウラジオストク KOTRA 事務所長
5. 在ウラジオストク 韓国江原道駐在事務所
6. 在ウラジオストク ベトナム総領事館貿易担当 領事

ブロンツ沿海地方農業大臣のスピーチ内容

沿海地方では、毎年最大 5,000 トンのハチミツが生産され、そのうち約 80%が様々な種類のものでリンデン(菩提樹)の花のハチミツです。うち、国内消費量は 2,500–3,000 トンで、残りはロシア国内の他地方に販売されている他、アジア太平洋地域の国々に輸出されています。

沿海地方で生産されたハチミツは、全ロシアのハチミツ総生産量の約 8%を占めています。これは、ロシアで有名なブランド、バシコルトスタン製ハチミツを凌駕するもので、沿海地方産ハチミツはロシア No.1 となるのです。

養蜂家の 90%以上が(家族経営の)個人養蜂家であり、現行法では生産税が免税される権利があります。、2021 年には沿海地方の 1,548 の養蜂家に関する情報が収集されていますが、統計データに反映されていません。私たちの推計では、これ(個人養蜂家)は沿海地方の全養蜂家の 70%を占めている筈です。沿海地方の養蜂産業の発展させ、養蜂家を取りまとめ、養蜂家の研修を行い、さまざまな活動分野での情報提供を行うなどの計り知れない貢献は、ここにおられる非営利団体「沿海地方養蜂業者連盟」のエニケエフさんによるものです。

法的枠組み

沿海地方の養蜂産業の発展を目的として、沿海地方政府は、2013 年 12 月 3 日付の沿海地方法第 317-K3 号「沿海地方の養蜂について」が採択し、養蜂の法的枠組みを取り決めました。現在、養蜂の発展に関する連邦法の採択に関連して、地方法を施行しており、このプロジェクトは現在進行中です。

地方政府の支援

2013 年 6 月 21 日付の APK PK 256-pa の地方政府令の 2020 年最終改正（2020 年 8 月 12 日付 No. 696-pp）にて、農業分野の設備更新に対して補助金を給付することになっており、補助金手続に関する追加令 No. 5 には養蜂用の設備が反映されています。その対象は、蜂蜜製品のラベル印刷および自動汲出装置、蜂蜜の処理および包装（低温殺菌、冷却、熱処理、クリ

ーム状化、過剰水分除去、均質化、定量化、充填、および蜂蜜の密封) のための全ラインおよび (または) 機器です。

養蜂設備の購入に関連する費用の一部に対して補助金の給付を受ける必須基準は、会計年度の初めに少なくとも 200 のミツバチコロニーを所有し、養蜂場パスポート(動物学見地から養蜂場管理を確認する証明書)の存在、連邦情報システム「マーキュリー」

https://ru.wikipedia.org/wiki/%D0%A4%D0%93%D0%98%D0%A1_%C2%AB%D0%9C%D0%B5%D1%80%D0%BA%D1%83%D1%80%D0%B8%D0%B9%C2%BB

への登録確認書です。

養蜂設備の購入代金の 50%が補助されますが、但し、購入された機器 1 台につき最大 50 万ルーブルとなります。

補助金の利用価値の結果評価。前会計年度と比較して、今年度のハチミツの生産量は少なくとも 1.5 倍に増加しました。

申請書類の受付時期。本年度のリースまたは自己資金による購入は、今年の 10 月 10 日から 20 日までとなります。リース調達の場合、過去数年間に補助金を受給書類、または申告期間の 9 月から 12 月までのリース契約の場合は、今年 4 月 10 日から 20 日まで受け付けます。

養蜂業者が、ハチミツ調達・処理協同組合として統合する場合、最大 3000 万ルーブルの補助金が給付され、そのうち 2000 万ルーブルは自己資金を必要としますので、60%/40%の資金負担となります。また、家族経営養蜂家の統合の場合、最大資金 3000 万ルーブルのうち、補助金/自己負担 70%/30%の資金負担率となります。

当該分野への地方政府の支援は、ハチミツの工業化とハチミツ処理の促進、ハチミツ品質の確保、および輸出のための均一品質のハチミツのコンテナバッチ充填包装の実現に使用されています。

個人養蜂家も補助金給付の対象です。2021 年から、新規個人養蜂家への補助金制度は終了し、新規個人養蜂家は最大 300 万ルーブル給付の新プログラム「アグロスタートアップ」への参加を呼び掛けています。

2021 年には、5 月には補助金給付の申請書類を受け付け、この分野の予算配分が策定されるまで毎月申請を受け付ける予定です。

沿海地方の養蜂業者ソサエティと協力し、ロシア極東種のミツバチを繁殖させるための血統を再生する作業が進行中です。初の繁殖場の登録後、農業生産者への補助金の既存手順を改正する予定です。指定の血統種のミツバチ群を購入する際の費用の一部（最大 60%）を補償し、血統種の再生するミツバチのコロニーを維持するための費用を補償していく考えです。

(終わり)

エニケーエフ沿海地方養蜂業者連盟 会長のスピーチ内容

1. 2020 年の沿海地方のハチミツ生産量は 6,500 トンであり、輸出量は 1,080 トンでした。主な輸出先は中国でした。

沿海地方は、ハチミツ用の植物栽培が不要であることが、大きな特長になっています。ハチミツは全てウスリー地方のタイガの野生植物の花から出来ているのです。主な原料は野生のリンデン(菩提樹)の花です。

沿海地方のほぼ全ての家庭はハチミツと密接に生活しています。沿海地方のコジェミャコ知事と沿海地方政府の支援を受けて、沿海地方養蜂業者連盟は養蜂業者の利益を結集させました。

2. ハチミツに関する当連盟と「MOI BUSINESS」中小ビジネス支援センターは次の2つの協力を行っています。一つめは、養蜂製品の輸出促進、二つめは、沿海地方産のハチミツのプロモーションです。2020年には、ロシア初のビジネスアクセラレータコンクール「養蜂のエネルギー」をウェビナー形式で開催され、沿海地方産のハチミツに関するビデオが制作され、ウェブサイトも作成されました。

<https://www.youtube.com/watch?v=1F6DZN80xdo>

ウェブサイトとビデオは、本年度に複数の外国語に翻訳する予定です。

また、沿海地方政府のハチミツに対して、統一ブランド「プリモルスキーハニー」を構築するための作業が進行中です。

<https://primhoney.ru/about>

3. 沿海地方のハチミツの最大の輸出先は中国であるが、沿海地方の養蜂製品の供給先を大幅に拡大する計画がございます。日本向け 40,000 トン、インドネシア向け 20,000 トン、韓国向け最大 10,000 トンに拡大したいと考えております。在ウラジオストクの日本総領事館経済班の代表者とは積極的に接触しております。また、ロシア連邦農業省は、韓国に対してハチミツの輸入関税の引き下げを働きかけています。

(終わり)